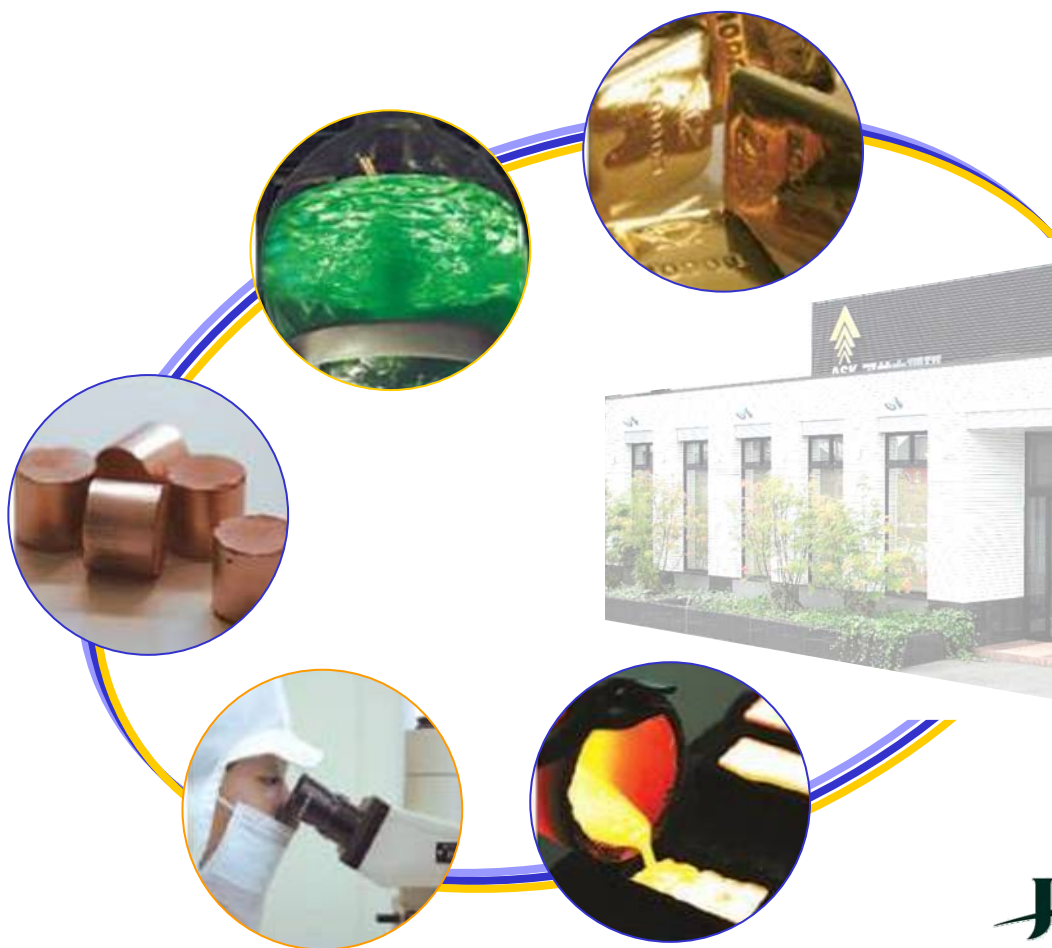




株式会社アサカ理研

～ 貴金属事業と環境事業により、
地球環境保護に貢献する
「市場創造型企業」～



2012年9月期 決算説明会

説明資料

2012年12月4日

JASDAQ 証券コード 5724

□ 2012年9月期業績→売上高微増、営業減益

売上高及び営業利益変化の外部要因

- ・マイナス要因 電子部品・デバイス工業の落ち込みによる数量減
環境事業における銅価格の低下
- ・プラス要因 貴金属価格の上昇

これらのマイナス要因とプラス要因による影響額は、ほぼ相殺され、
売上及び営業利益に対する影響は小さい

減益の主な要因は、研究開発を含めた新規事業開発費用の増加

□ 経営戦略と新規事業開発について

外部環境（貴金属・銅相場と電子部品・デバイスの生産動向）の影響を
受けにくい事業構造を実現し、安定した成長を目指す。

そのための投資を行い、新事業の創出を推し進める。

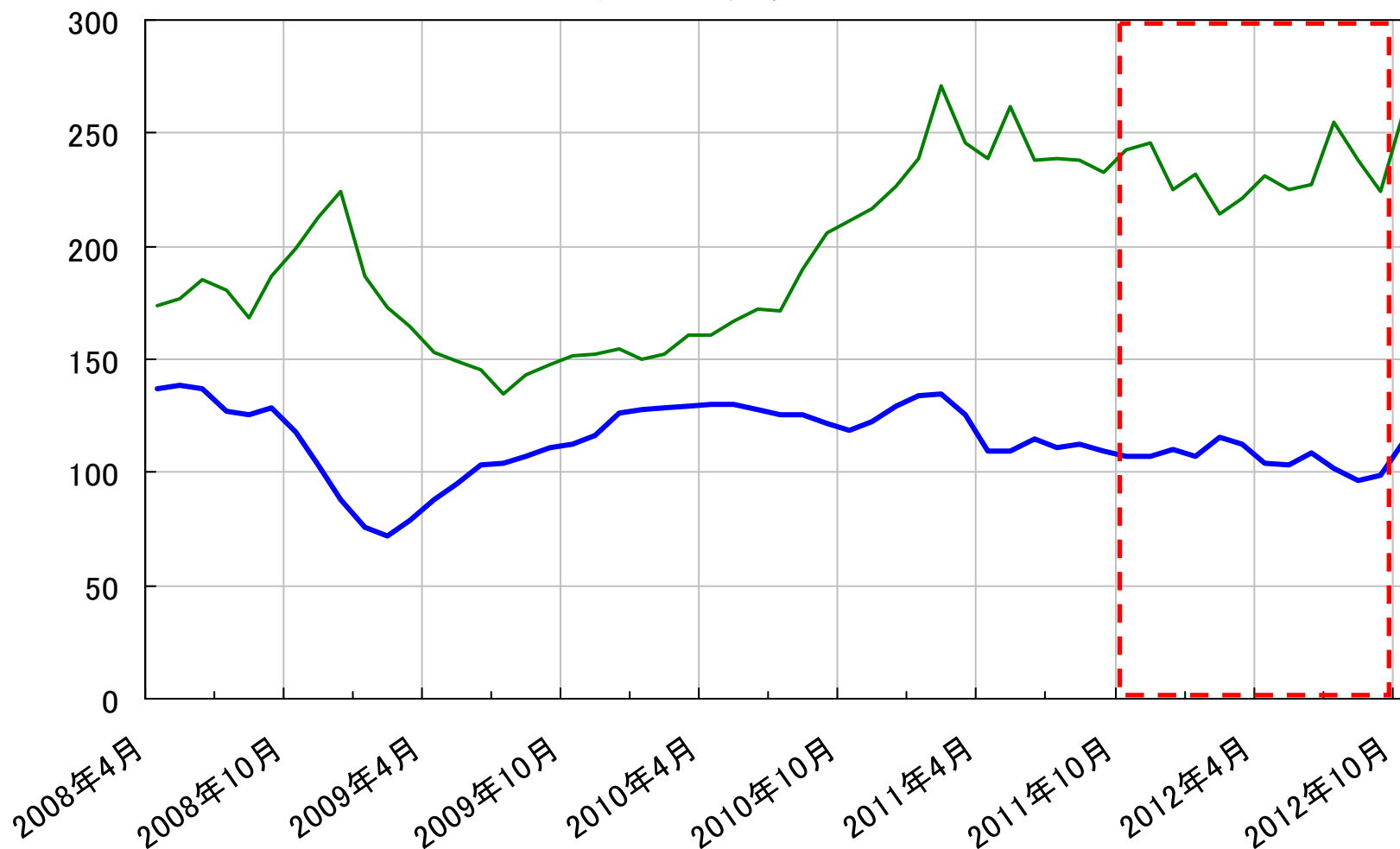
- 第一部 2012年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

- 第一部 2012年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

【電子部品・デバイス工業】

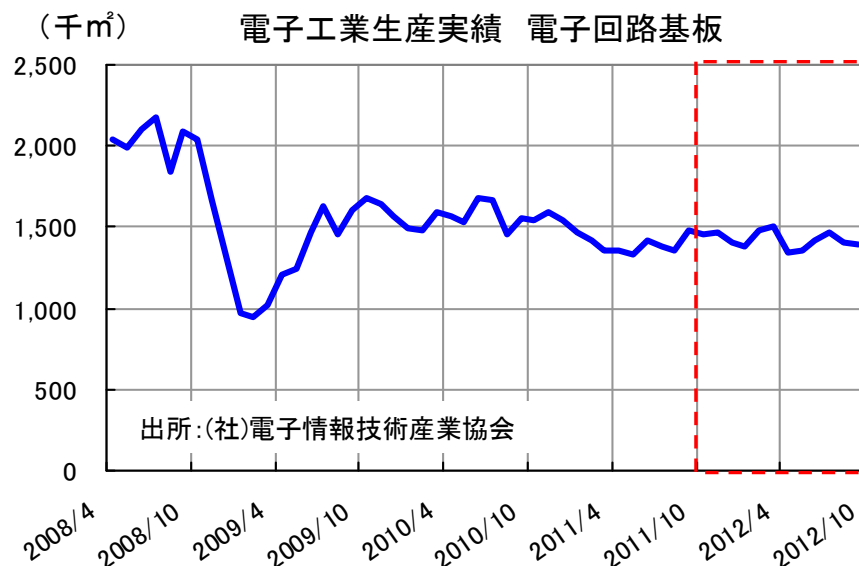
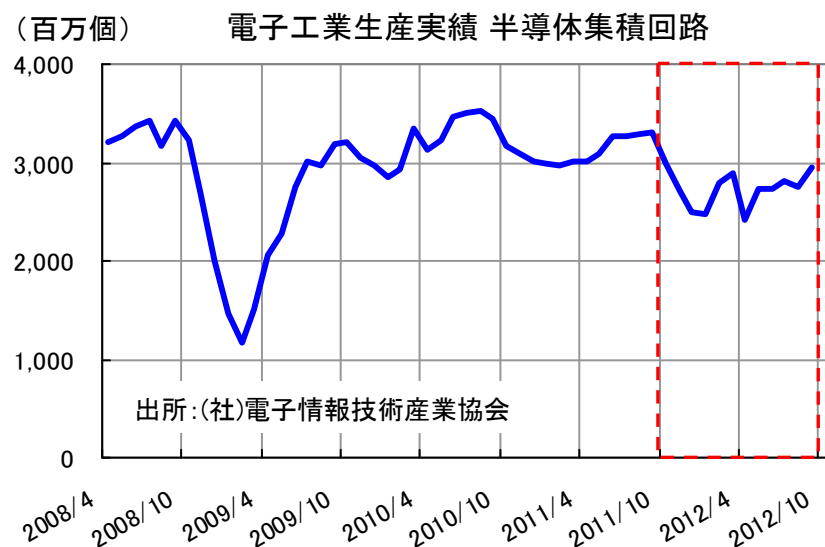
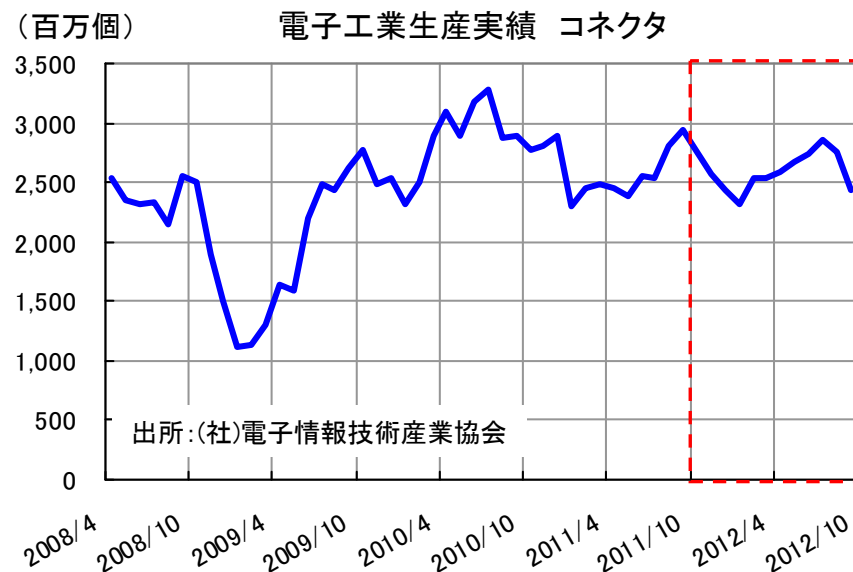
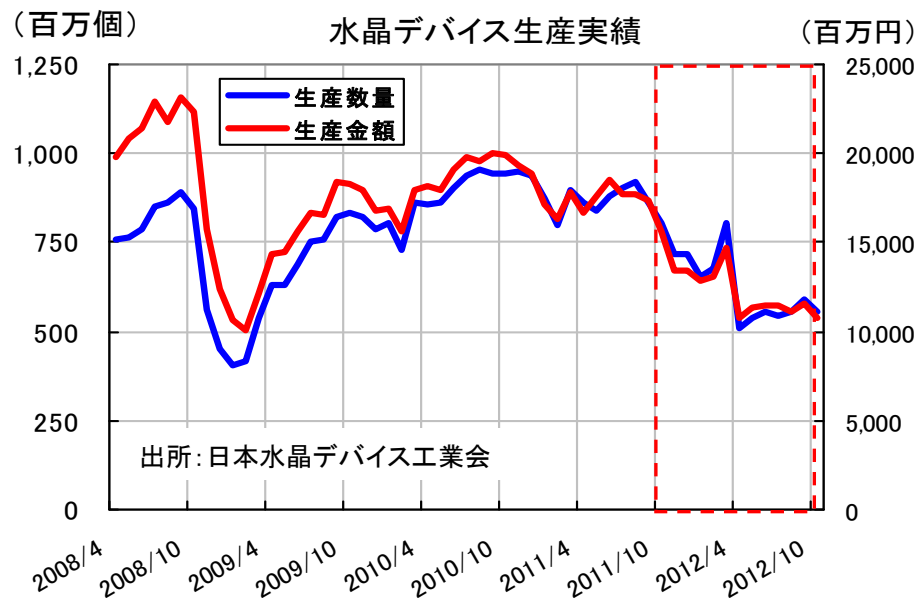
生産 在庫

(2005年 = 100.0)

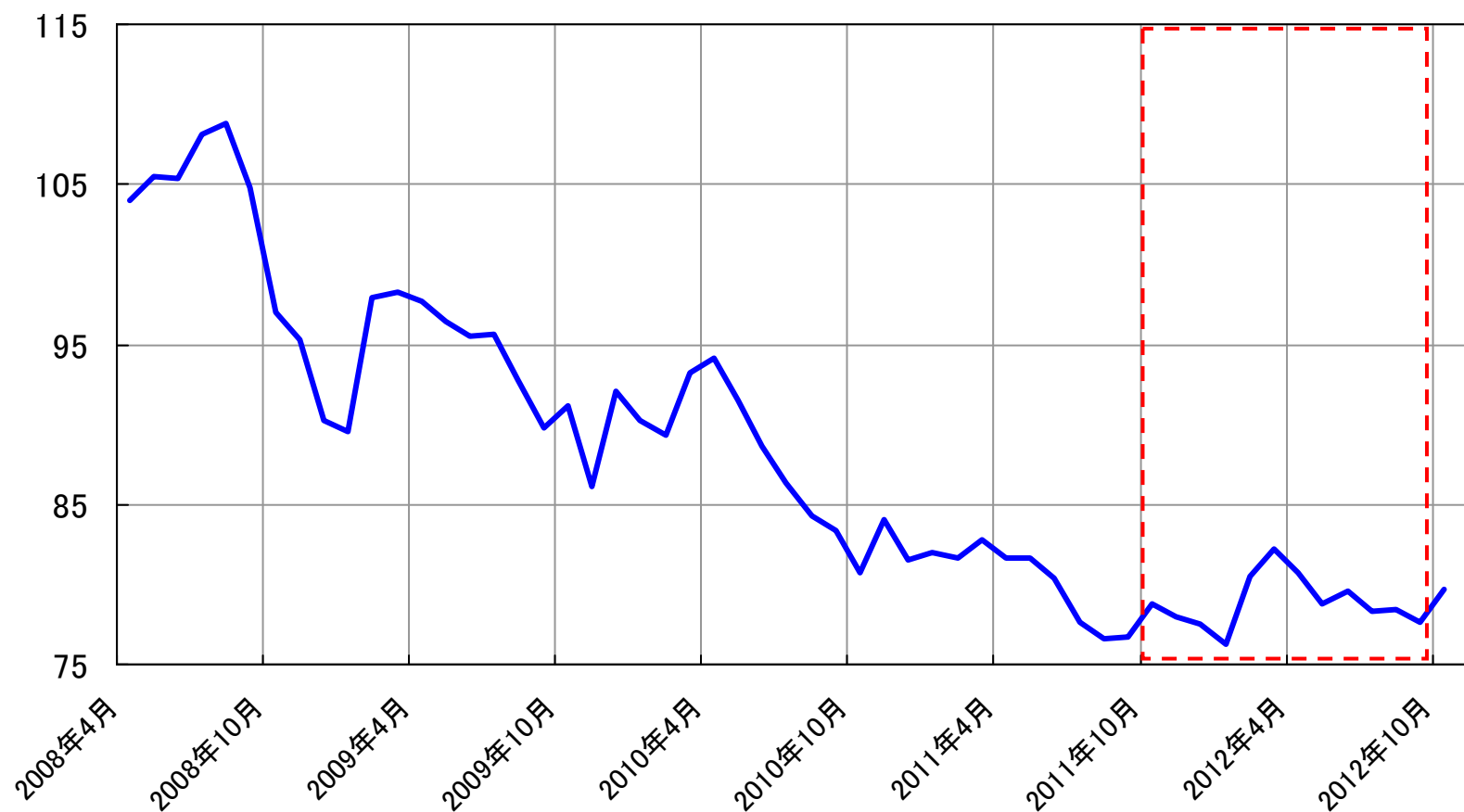


事業環境② 主要顧客が属する業界の生産実績推移

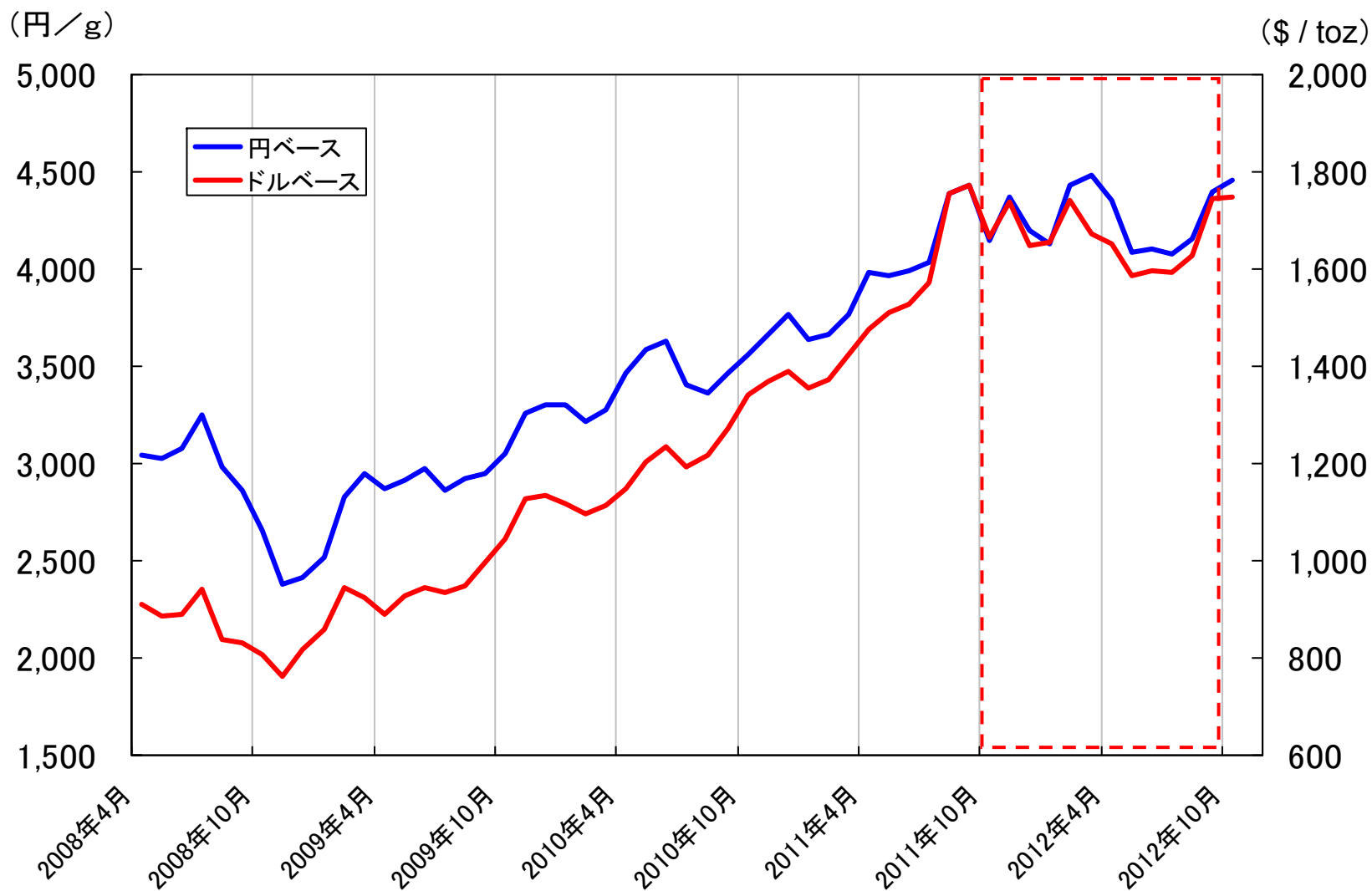
株式会社アサカ理研



(円／\$)

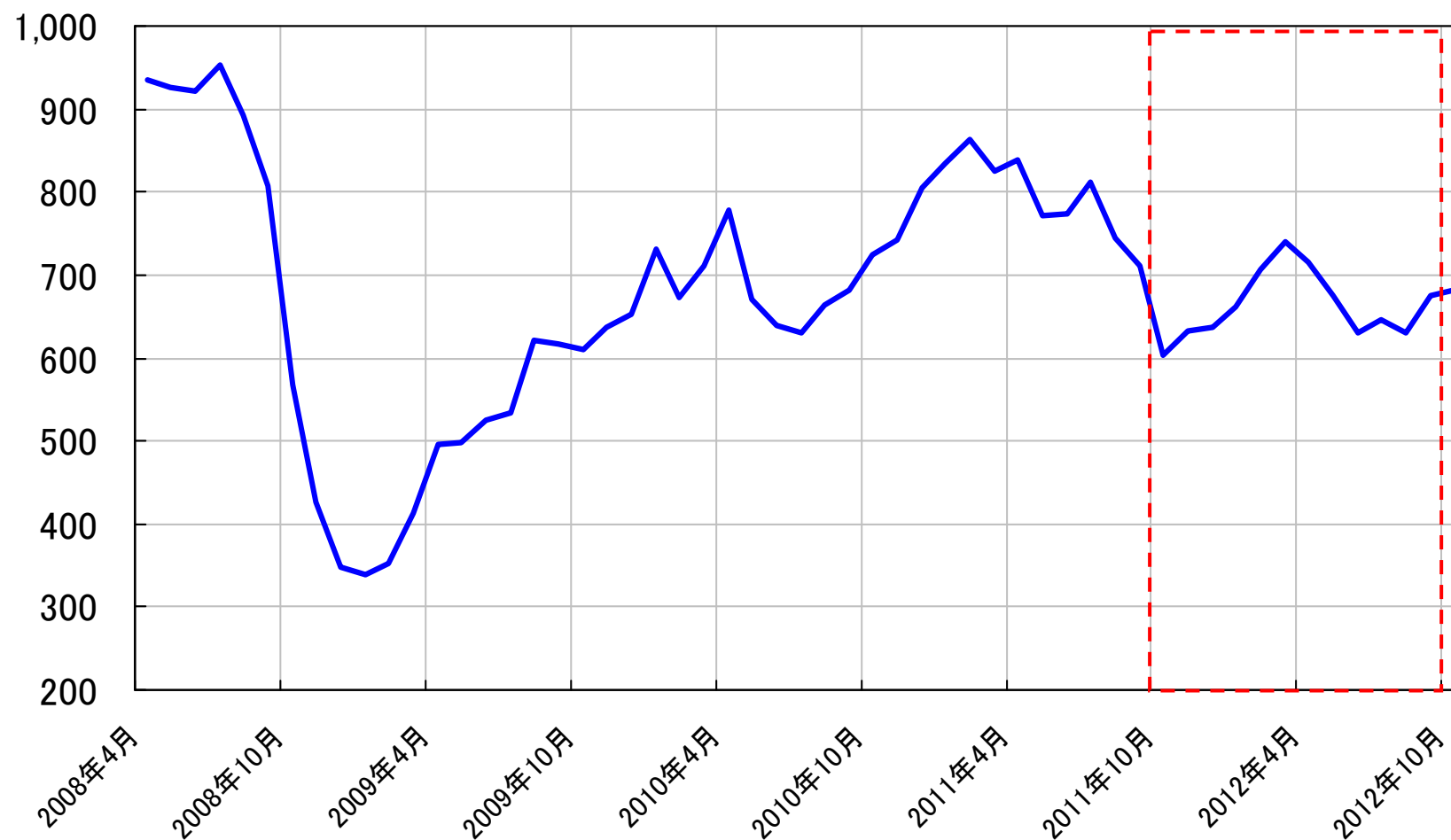


出所: 日本銀行



出所: 三菱商事 (円ベース) 及び Metalprices.com (ドルベース)

(千円/t)



出所: 産業新聞

□ 国内景気

- 欧州の財政問題による世界景気の減速、円高の長期化
→景気回復の動きに一服感

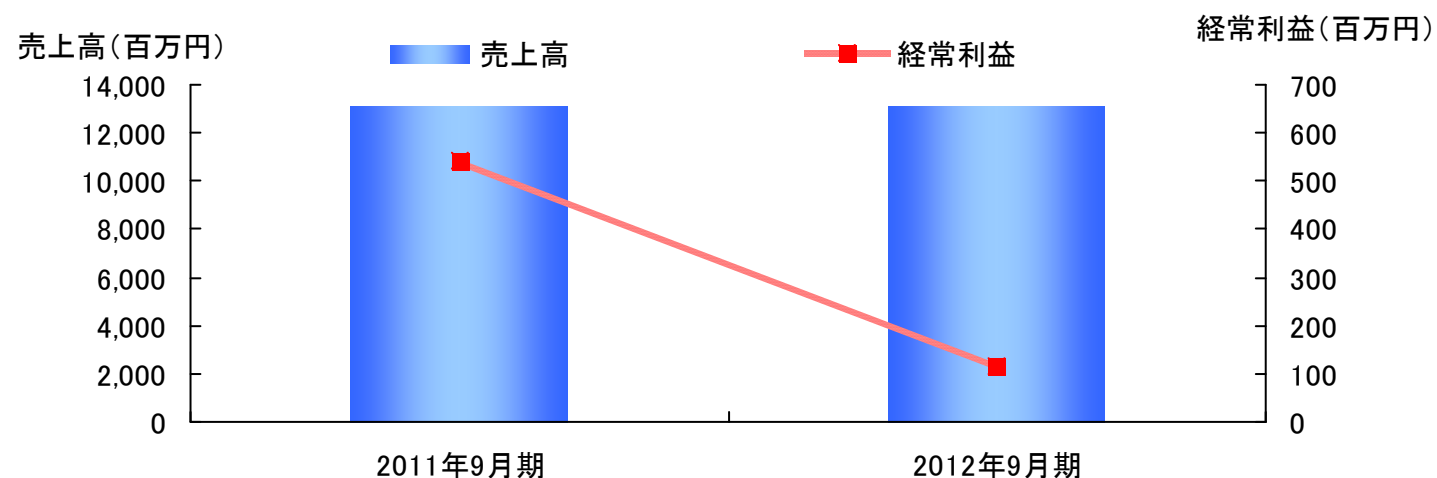
□ 電子部品・デバイス工業

- スマートフォン・タブレット端末普及の一方、景気減速や円高の影響
→電子部品・デバイス工業分野の生産数量減少

□ 金属価格

- 金相場は高値で推移
- 銅相場は前期より低い水準で推移

	2011年9月期	2012年9月期		
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	前期比	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,077	13,093	15	0.1
売上総利益	1,659	1,595	-64	▲ 3.9
営業利益	457	249	-207	▲ 45.4
経常利益	542	118	-423	▲ 78.1
純利益	193	73	-119	▲ 62.0



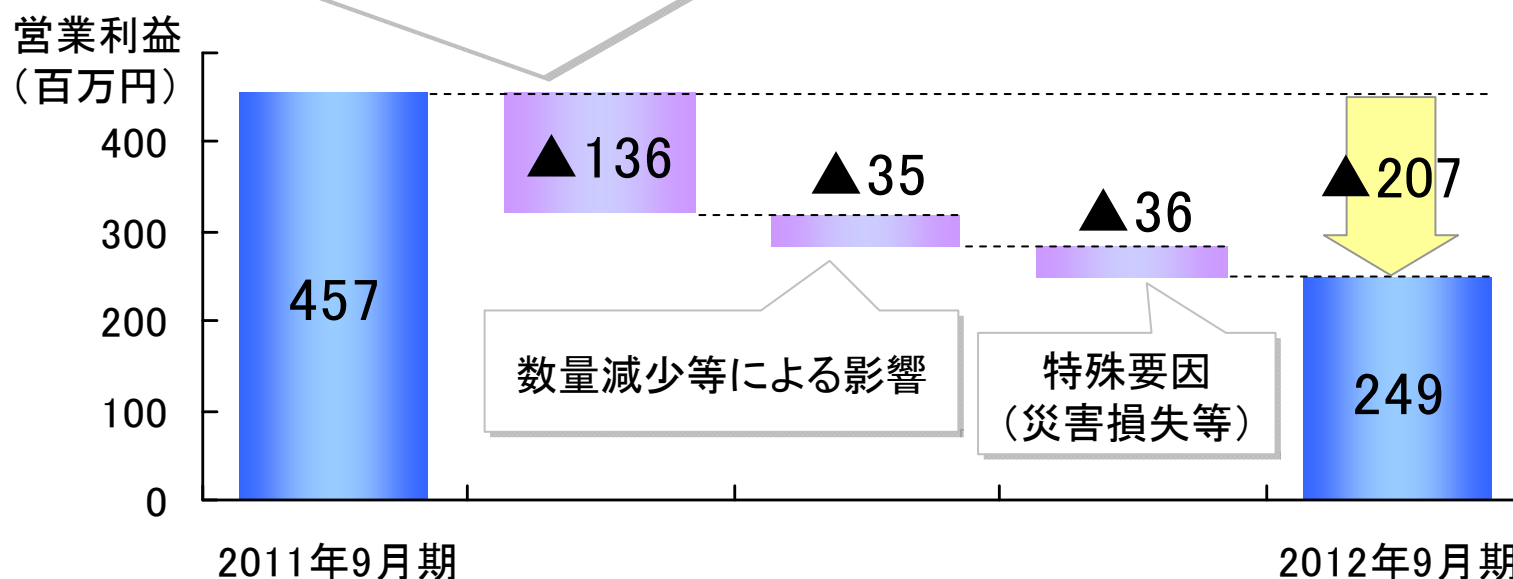
新規事業開発費用の増加による影響が136百万円

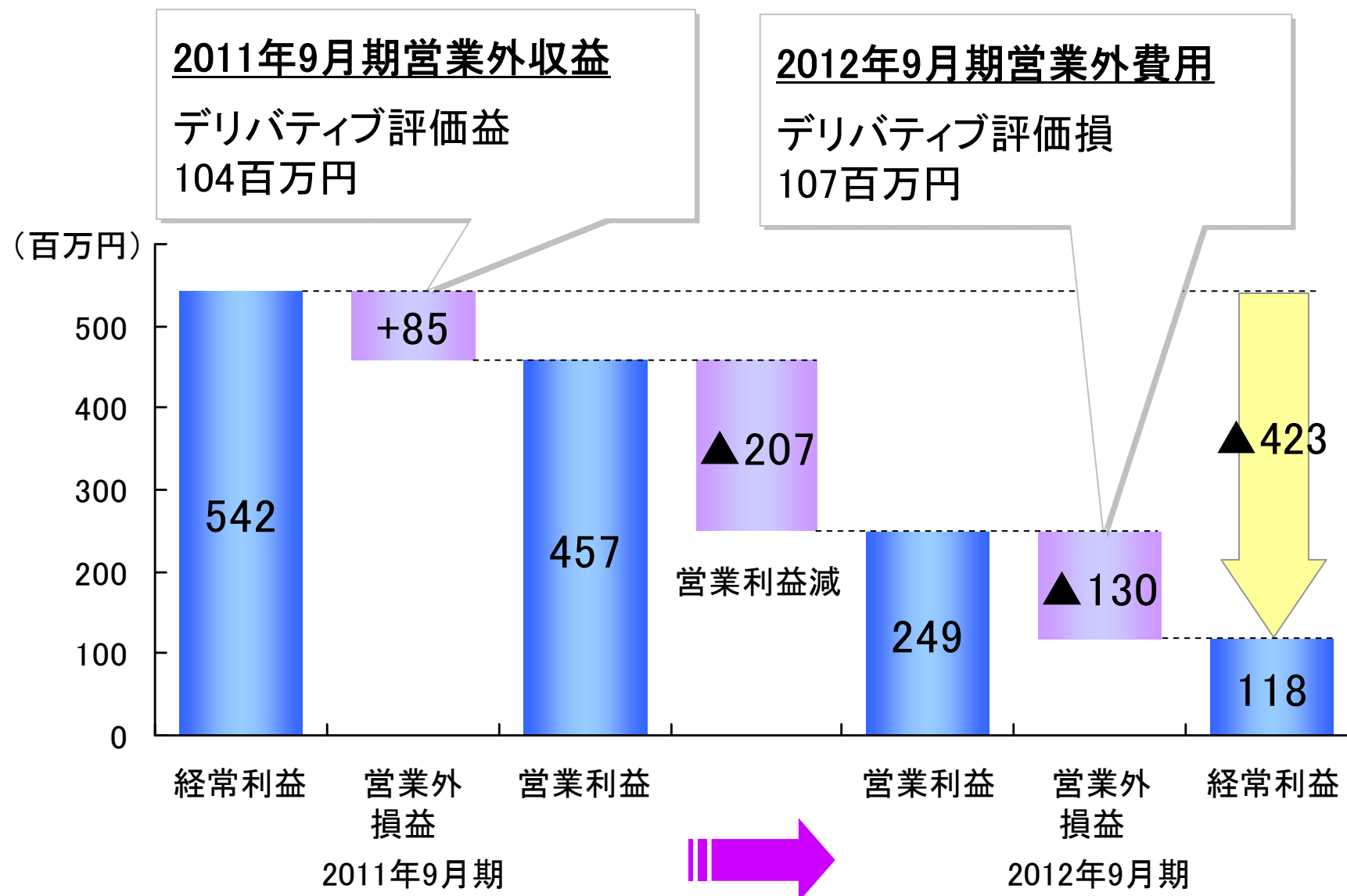
【新規事業テーマ】

レアアース関連事業、歯科材料からの貴金属回収事業、
水処理事業、光触媒事業

【新規事業開発費用の定義】

研究開発費用、新市場開拓のための営業費用
その他新規事業の立ち上げ段階にかかる全ての費用



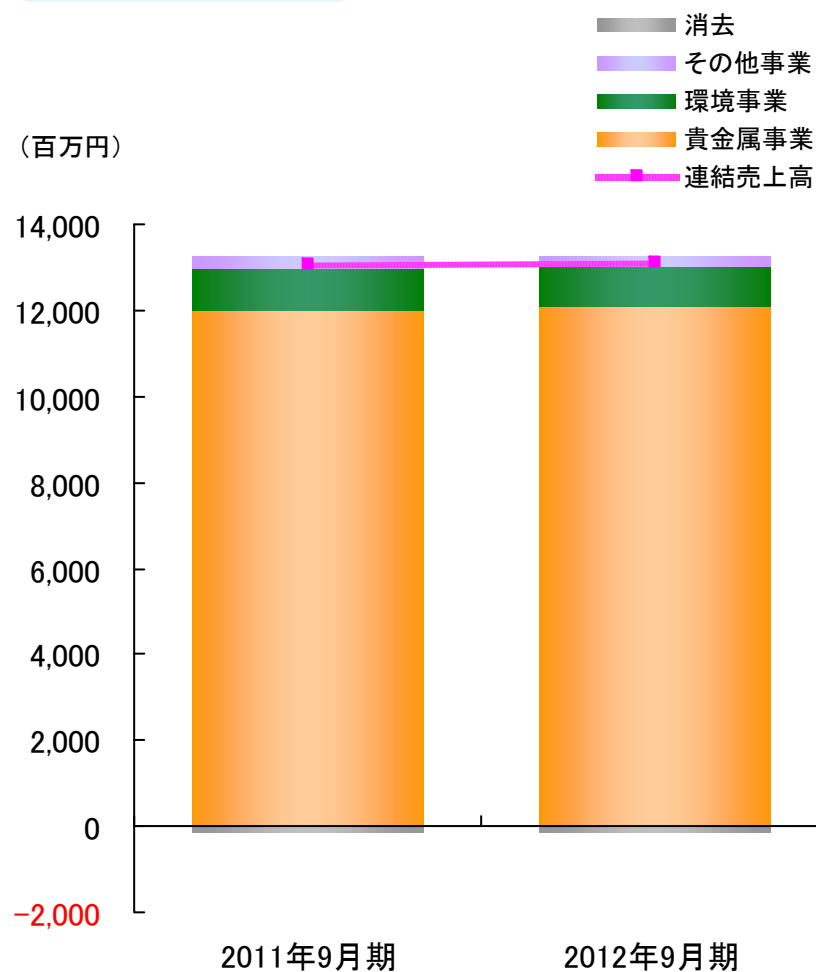


セグメント別業績①

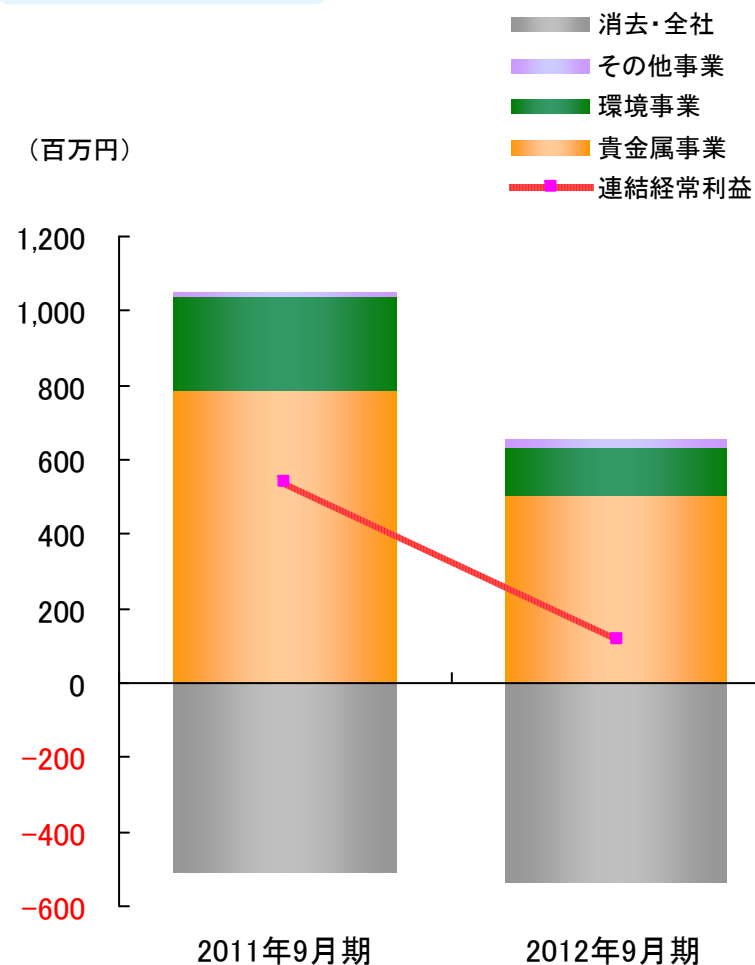
株式会社アサカ理研

	2011年9月期		2012年9月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連 結 売 上 高	13,077		13,093		15	0.1
貴金属事業	11,973	90.5	12,067	91.1	94	0.8
環境事業	1,020	7.7	949	7.2	▲ 71	▲ 7.0
その他事業	239	1.8	228	1.7	▲ 11	▲ 4.8
計	13,233	100.0	13,245	100.0	11	0.1
消去	▲ 155		▲ 152		3	—
連 結 経 常 利 益	542		118		▲ 423	▲ 78.1
貴金属事業	790	75.2	502	76.4	▲ 287	▲ 36.4
環境事業	248	23.6	129	19.7	▲ 118	▲ 47.7
その他事業	12	1.2	25	3.8	12	96.1
計	1,051	100.0	657	100.0	▲ 393	▲ 37.4
消去・全社	▲ 508		▲ 538		▲ 30	—

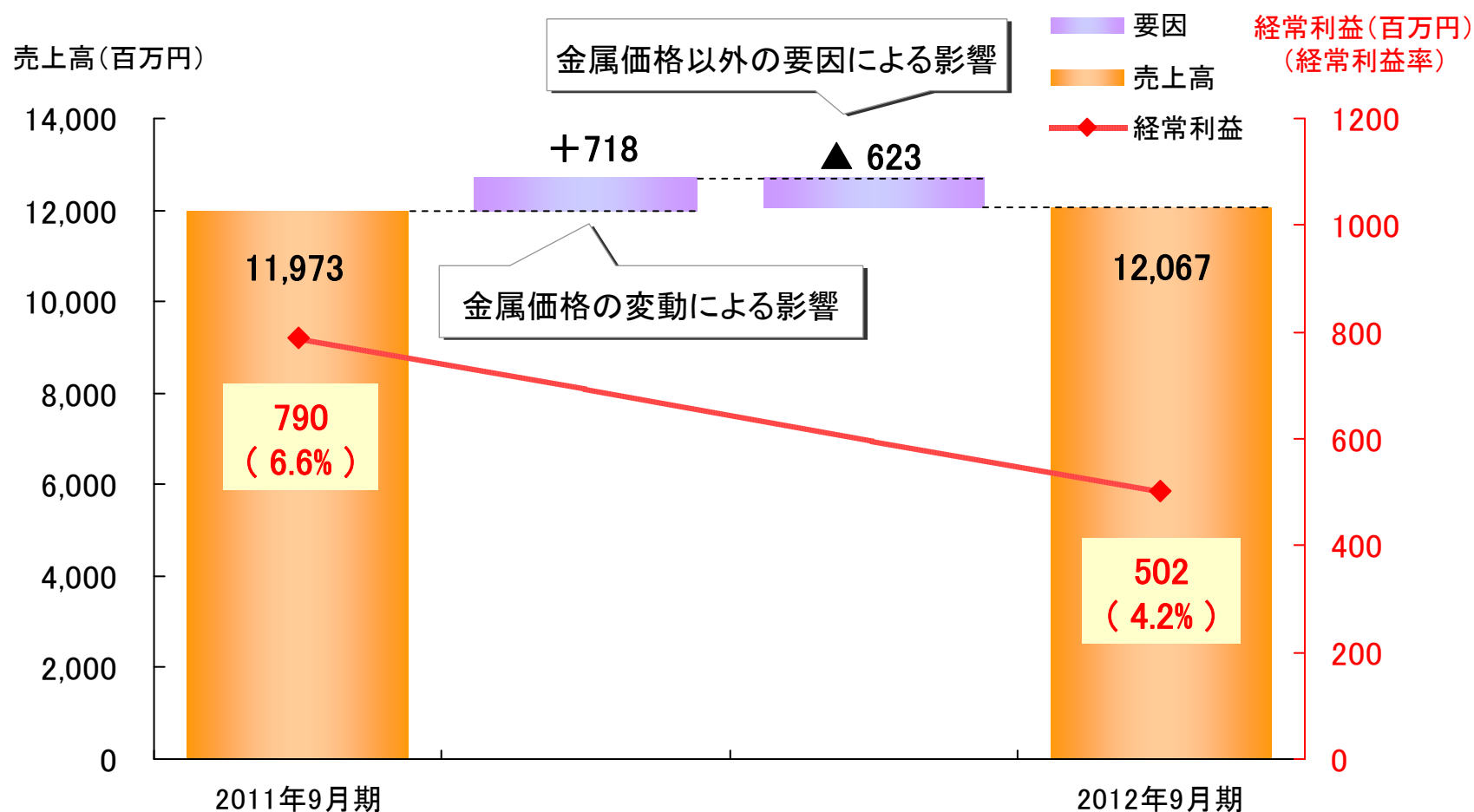
売上高



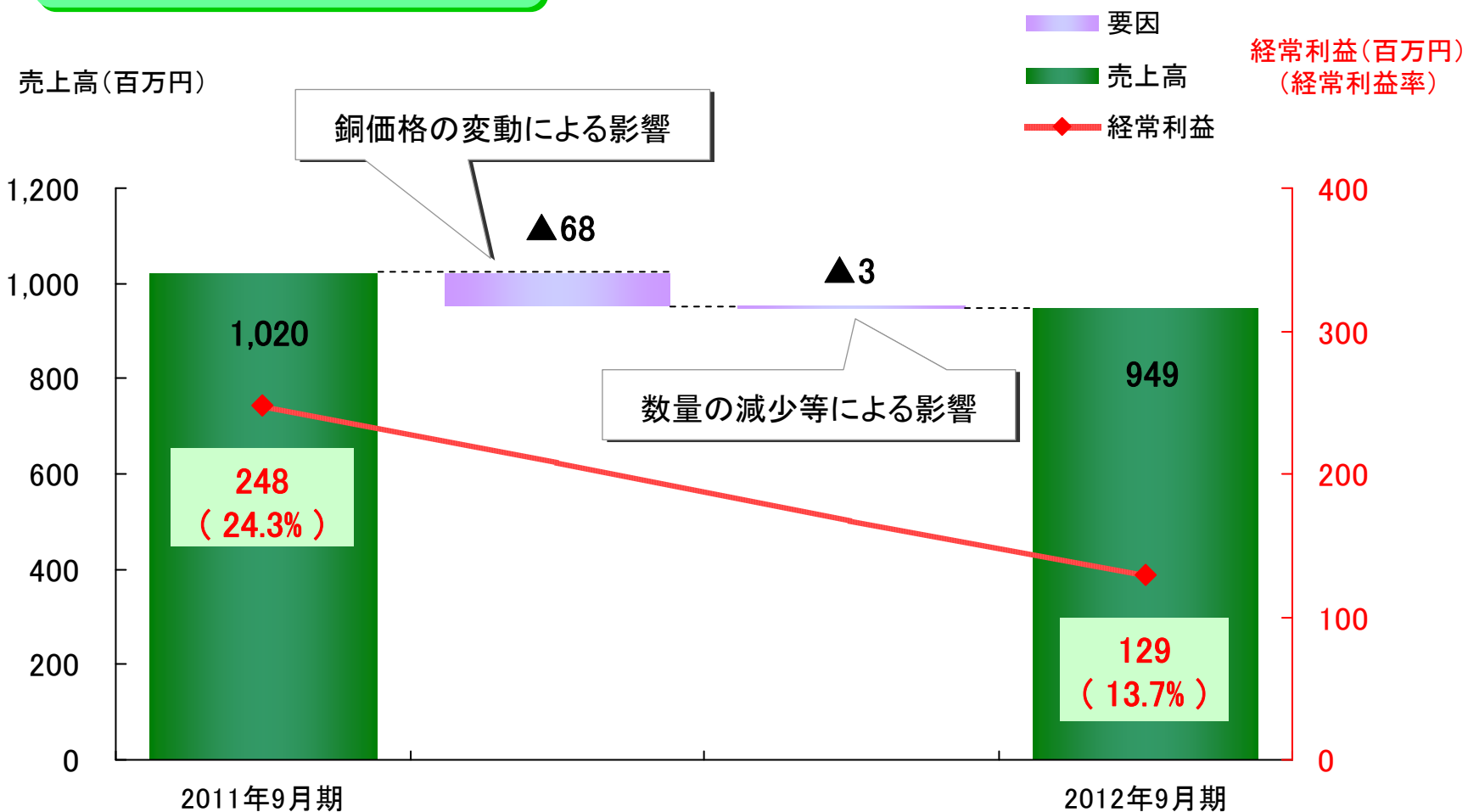
経常利益



貴金属事業



環境事業



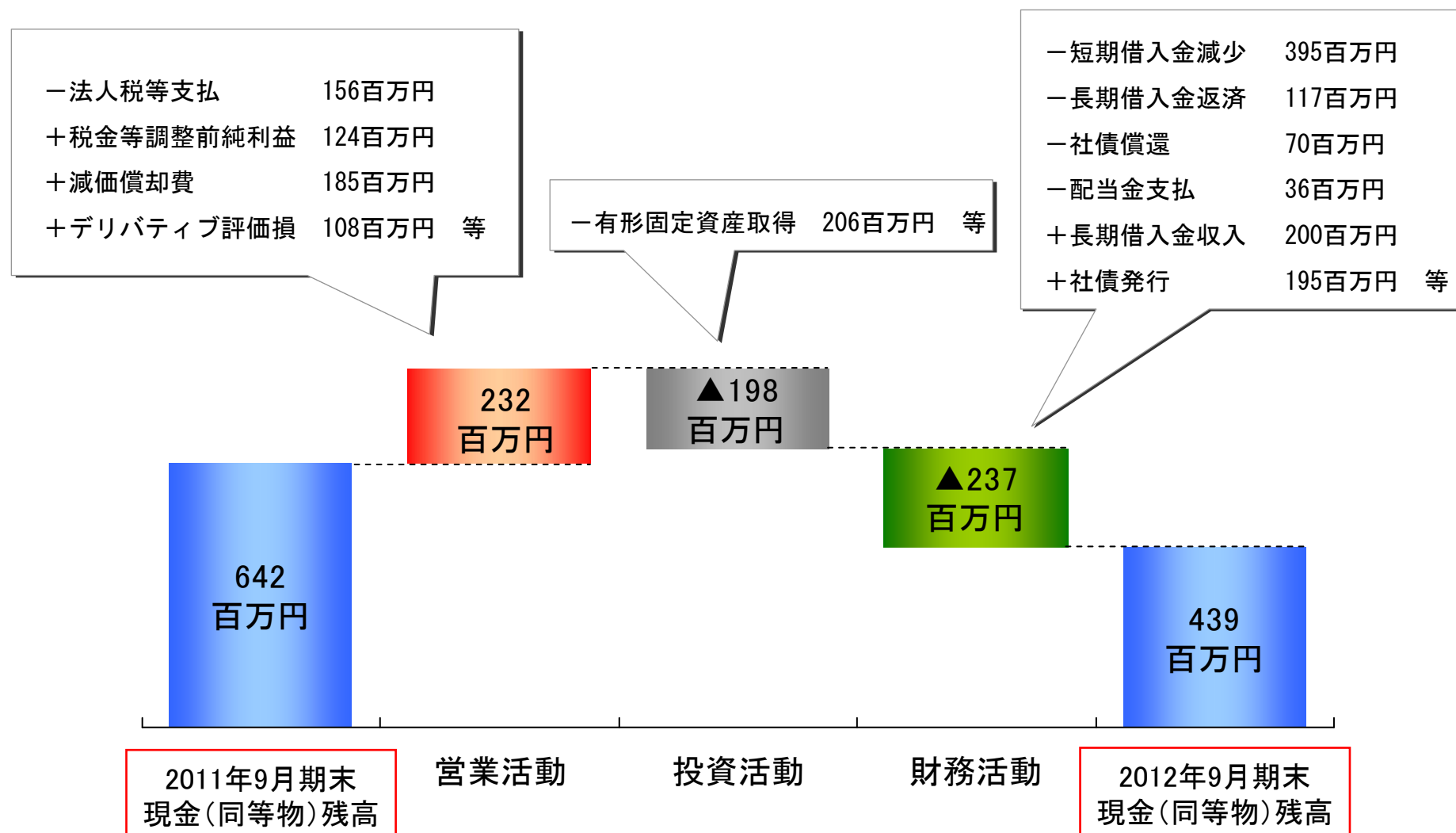
連結損益の状況

株式会社アサカ理研

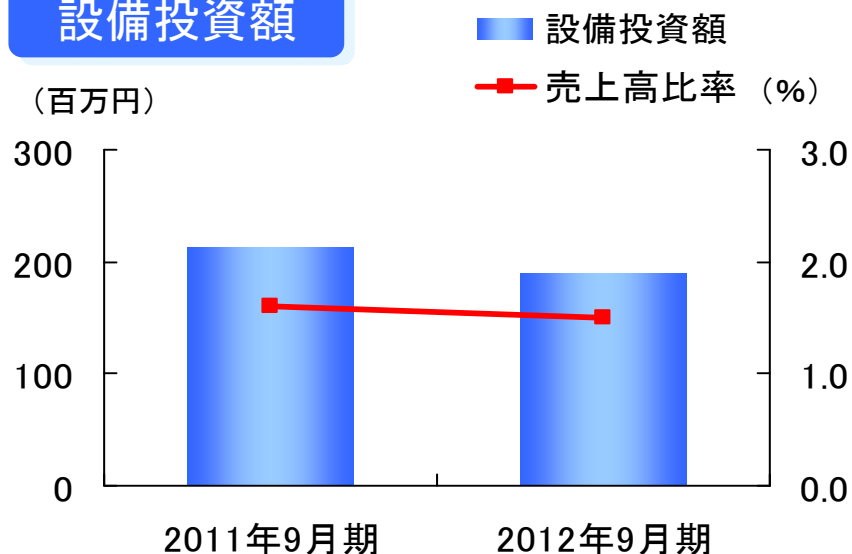
	2011年9月期		2012年9月期			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	13,077	100.0	13,093	100.0	15	0.1
売上原価	11,418	87.3	11,497	87.8	79	0.7
売上総利益	1,659	12.7	1,595	12.2	▲ 64	▲ 3.9
販管費	1,202	9.2	1,345	10.3	143	11.9
営業利益	457	3.5	249	1.9	▲ 207	▲ 45.4
営業外収益	123	0.9	22	0.2	▲ 100	▲ 81.4
営業外費用	37	0.3	153	1.2	115	305.5
経常利益	542	4.1	118	0.9	▲ 423	▲ 78.1
特別利益	0	0.0	6	0.1	6	0.0
特別損失	157	1.2	1	0.0	▲ 156	▲ 99.3
純利益	193	1.5	73	0.6	▲ 119	▲ 62.0

		2011年9月期末		2012年9月期末		
		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 増減額 (百万円)
資 産	流動資産	2,999	60.4	2,552	56.5	▲ 446
	固定資産	1,964	39.6	1,962	43.5	▲ 1
	資 産 合 計	4,963	100.0	4,514	100.0	▲ 448
負 債	流動負債	2,047	41.2	1,344	29.8	▲ 702
	固定負債	849	17.1	1,054	23.4	205
	負 債 合 計	2,896	58.4	2,399	53.1	▲ 497
	純 資 産 合 計	2,067	41.6	2,115	46.9	48
負 債 純 資 産 合 計		4,963	100.0	4,514	100.0	▲ 448

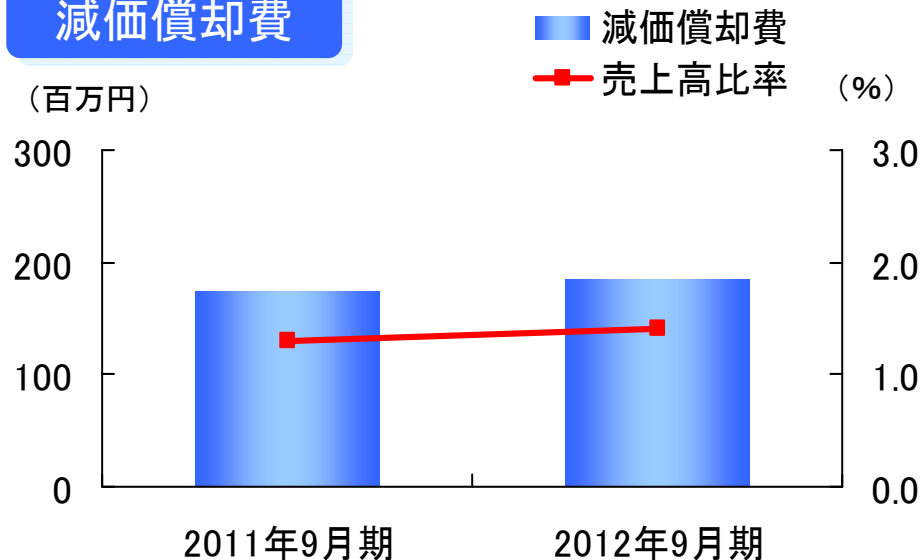
資産合計	▲448百万円	現金及び預金▲212百万円、受取手形及び売掛金▲124百万円、仕掛品▲139百万円 その他流動資産+59百万円
負債合計	▲497百万円	社債+130百万円、長期借入金+111百万円、短期借入金▲423百万円、 未払法人税等▲73百万円
純資産合計	+48百万円	利益剰余金+36百万円



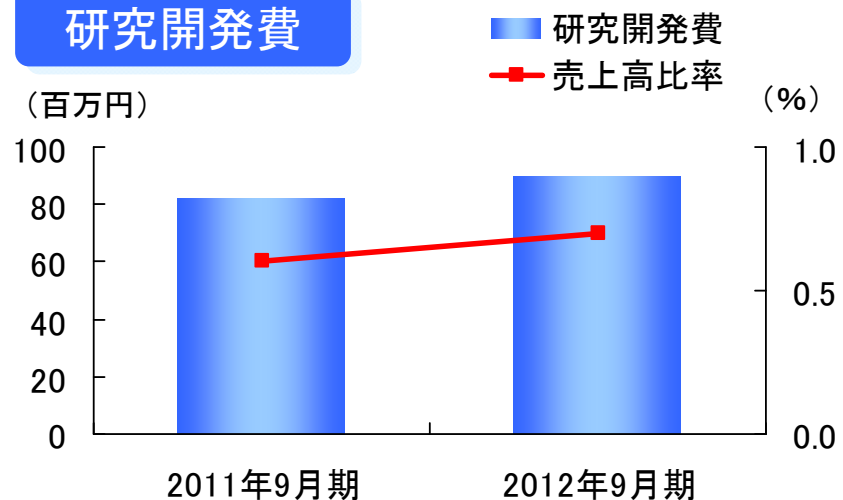
設備投資額



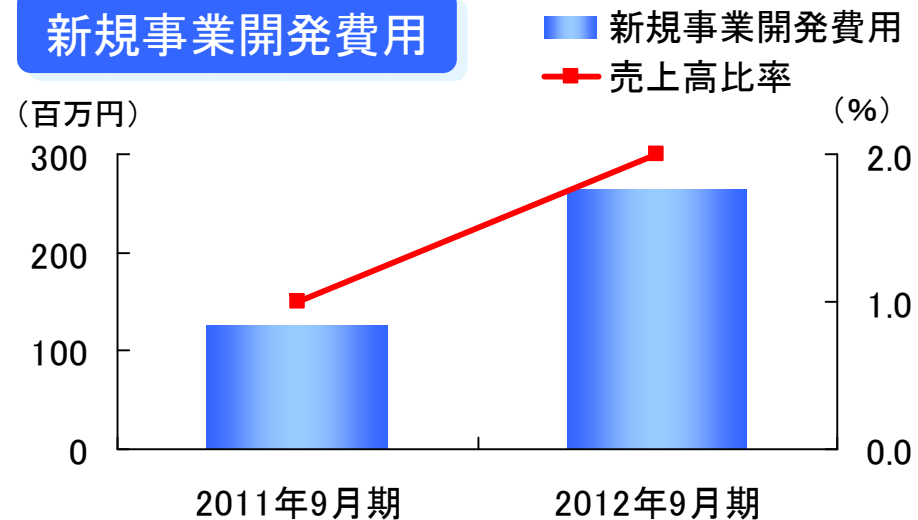
減価償却費



研究開発費



新規事業開発費用



- 第一部 2012年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

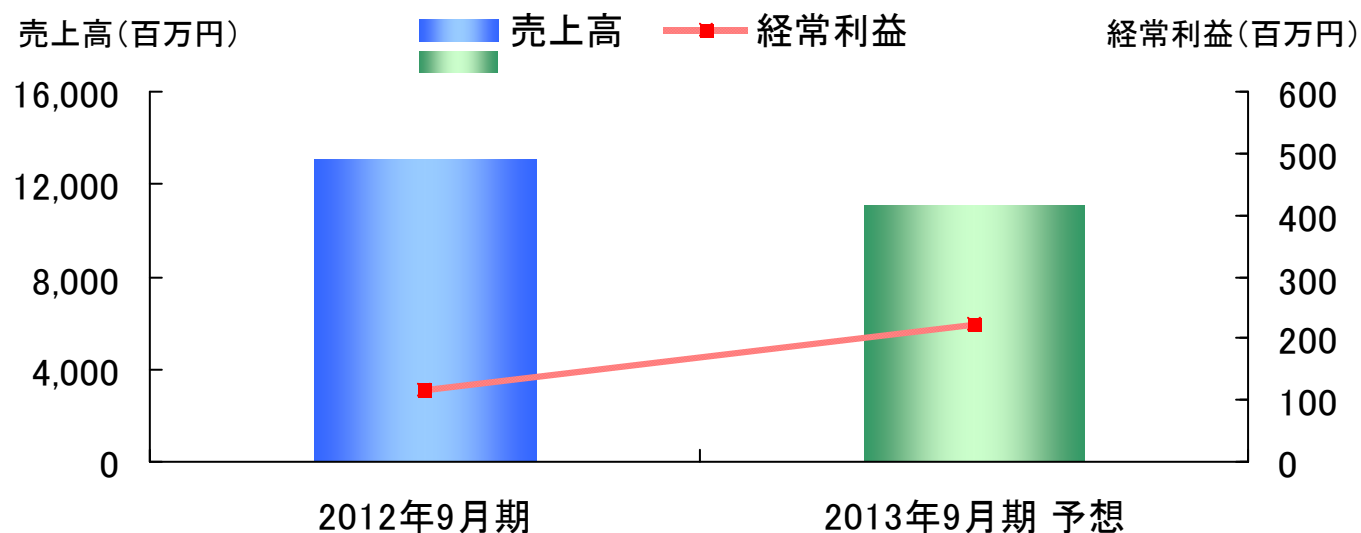
□ 今後の経済・市場環境

- 国内経済は復興需要による回復効果を期待
- 電子部品・デバイス分野の国内生産の大幅な回復は期待できない
- 世界経済は引き続き金融不安・景気後退懸念により先行き不透明
- わが国経済の先行きは予断を許さない状況が続くと見込む

□ 貴金属、銅の市況

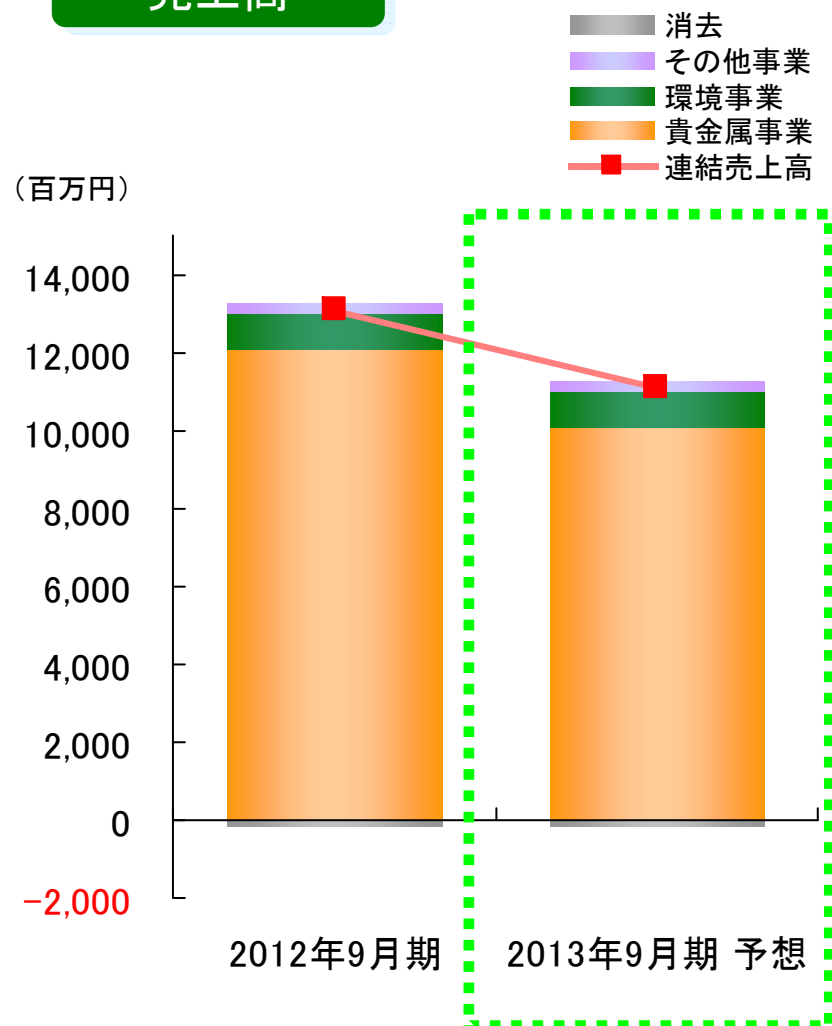
- 金価格は前期と同程度の水準で推移すると見込む
- 銅価格も前期と同程度の水準で推移すると見込む
- 想定価格は金 4,200円／g、銅 600千円／t

	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	13,093	100.0	11,099	100.0	▲ 1,993	▲ 15.2
売上総利益	1,595	12.2	1,619	14.6	24	1.5
営業利益	249	1.9	252	2.3	3	1.2
経常利益	118	0.9	225	2.0	106	89.7
当期純利益	73	0.6	122	1.1	48	66.2

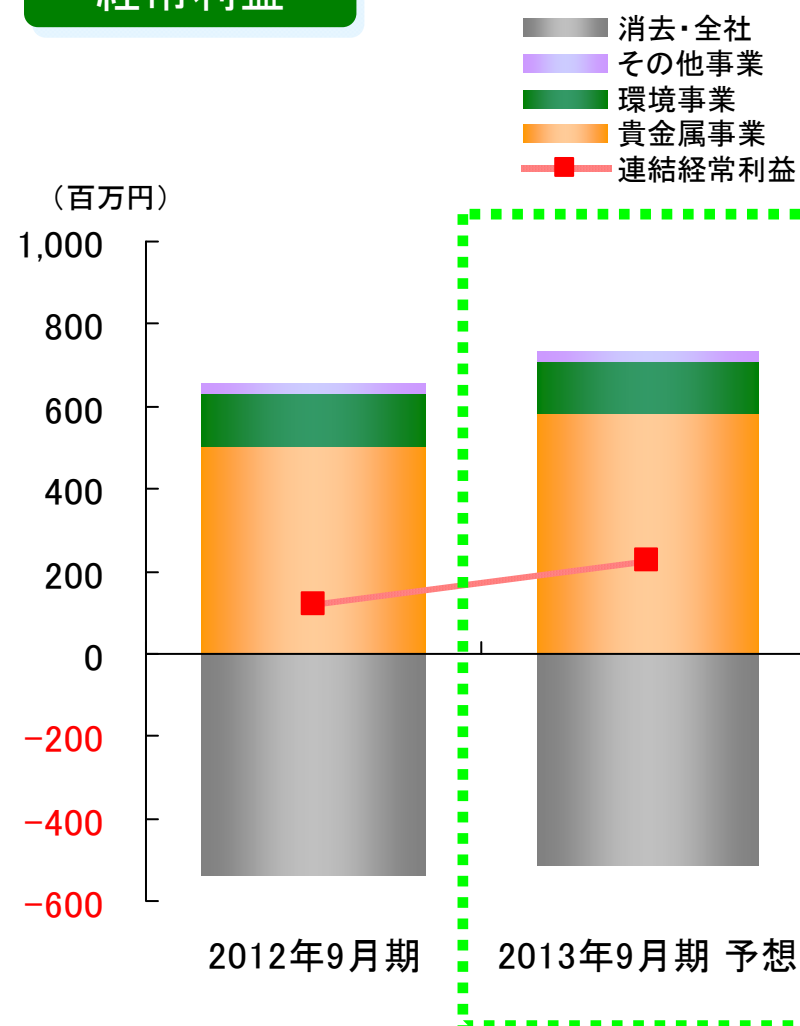


	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連 結 売 上 高	13,093		11,099		▲ 1,993	▲ 15.2
貴 金 属 事 業	12,067	91.1	10,108	89.8	▲ 1,959	▲ 16.2
環 境 事 業	949	7.2	911	8.1	▲ 37	▲ 4.0
そ の 他 事 業	228	1.7	241	2.1	13	5.7
計	13,245	100.0	11,261	100.0	▲ 1,984	▲ 15.0
消去	▲ 152		▲ 161		▲ 9	—
連 結 経 常 利 益	118		225		106	89.7
貴 金 属 事 業	502	76.4	583	79.2	80	16.1
環 境 事 業	129	19.7	129	17.6	0	▲ 0.1
そ の 他 事 業	25	3.8	23	3.2	▲ 1	▲ 6.5
計	657	100.0	736	100.0	79	12.0
消去・全社	▲ 538		▲ 511		27	—

売上高



経常利益



セグメント別業績予想(半期推移)

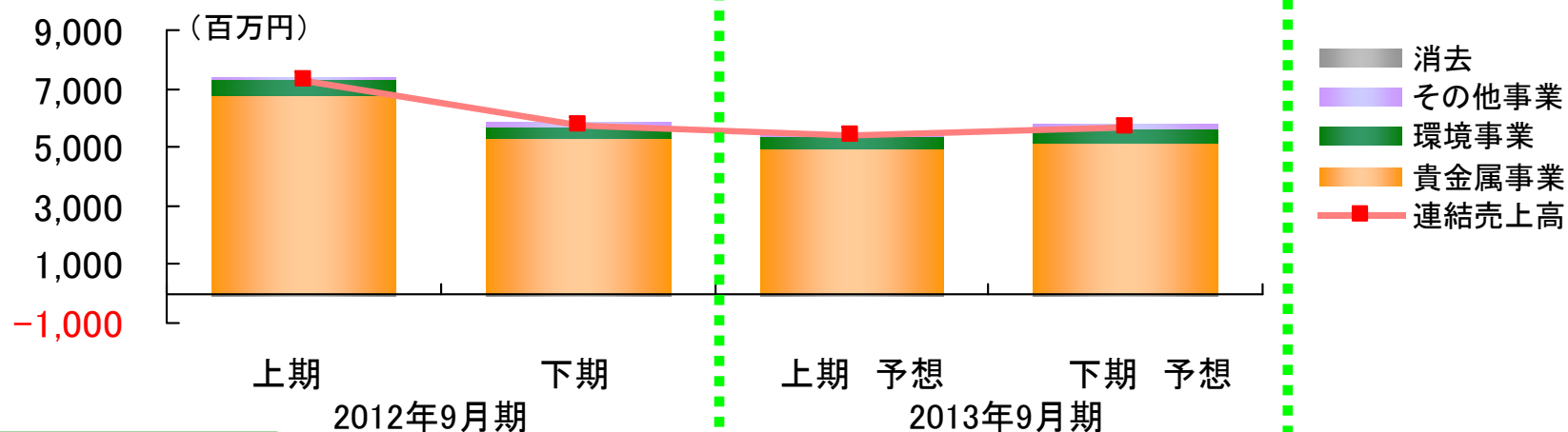
株式会社アサカ理研

	2012年9月期 上期		2012年9月期 下期		2013年9月期 上期予想		2013年9月期 下期予想	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
連 結 売 上 高	7,322		5,771		5,401		5,698	
貴 金 属 事 業	6,785	91.7	5,282	90.4	4,955	90.4	5,152	89.1
環 境 事 業	505	6.8	443	7.6	408	7.5	503	8.7
そ の 他 事 業	107	1.5	120	2.1	115	2.1	126	2.2
計	7,399	100.0	5,846	100.0	5,479	100.0	5,781	100.0
消去	▲ 77		▲ 75		▲ 78		▲ 82	
連 結 経 常 利 益	52		66		79		146	
貴 金 属 事 業	252	77.6	250	75.3	288	84.6	295	74.6
環 境 事 業	61	18.8	68	20.6	45	13.3	84	21.3
そ の 他 事 業	11	3.6	13	4.1	7	2.1	16	4.1
計	325	100.0	332	100.0	341	100.0	395	100.0
消去・全社	▲ 272		▲ 266		▲ 261		▲ 249	

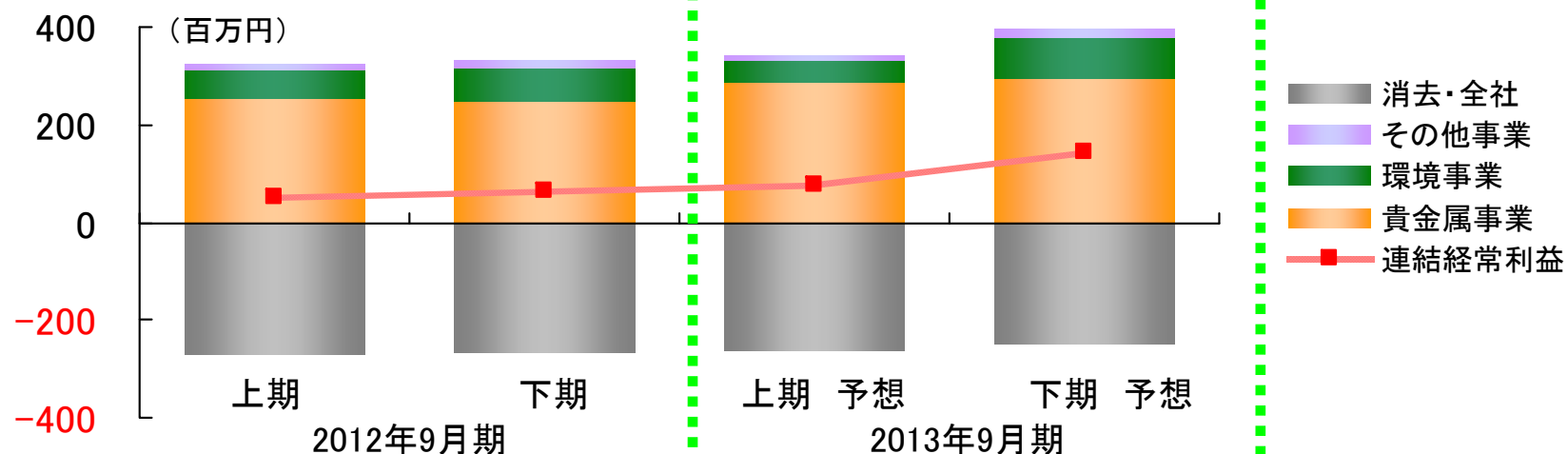
セグメント別業績予想(半期推移)

株式会社アサカ理研

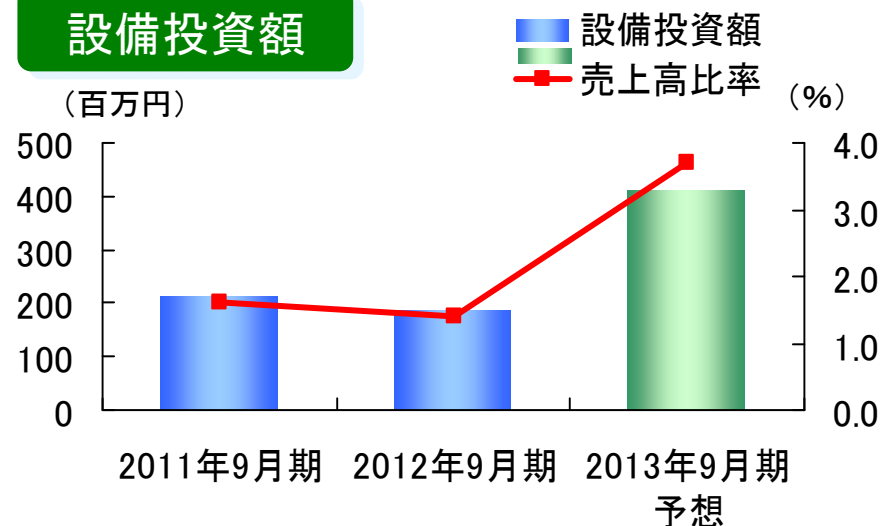
売上高



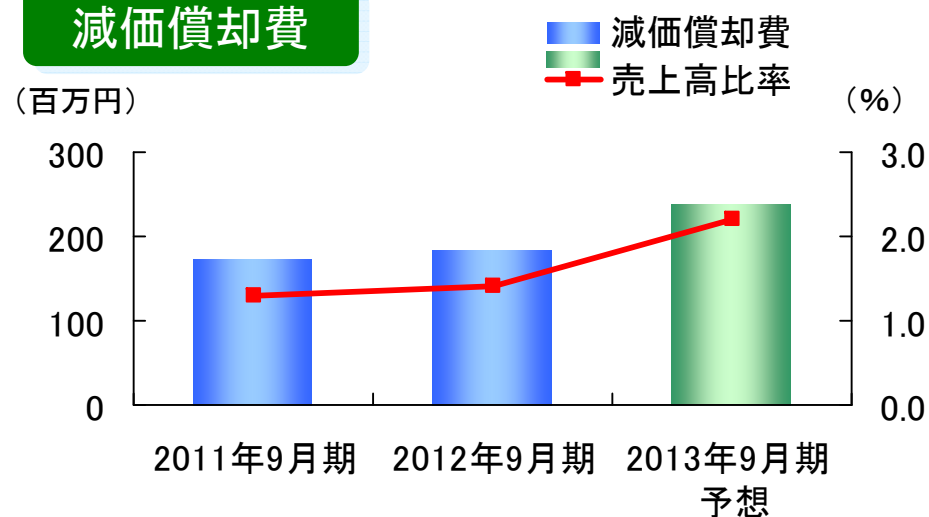
経常利益



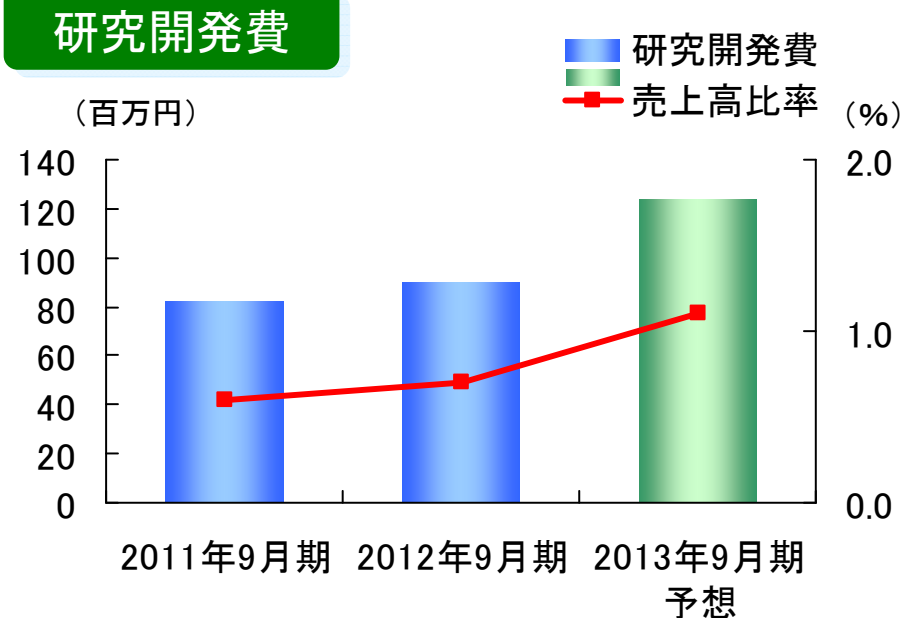
設備投資額



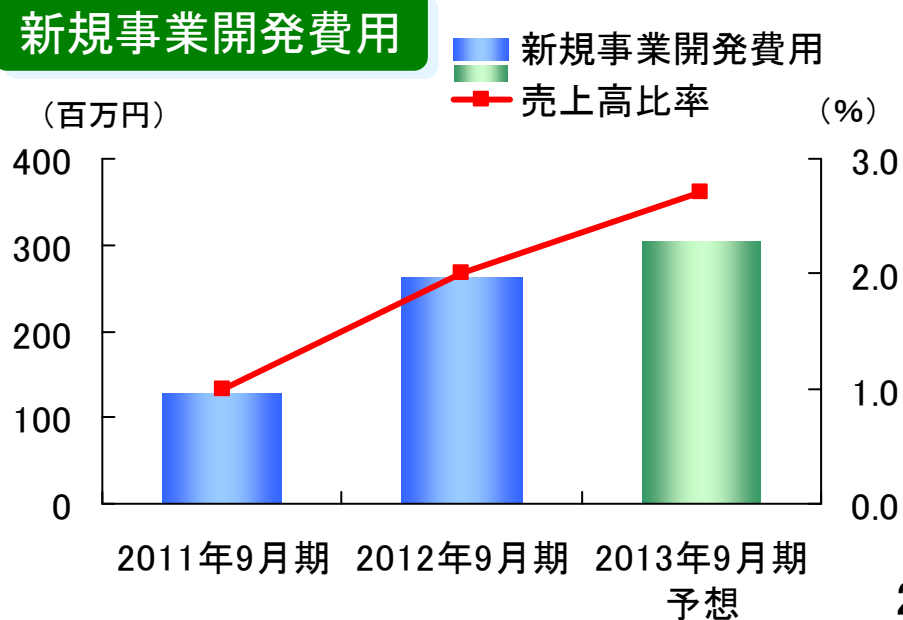
減価償却費



研究開発費

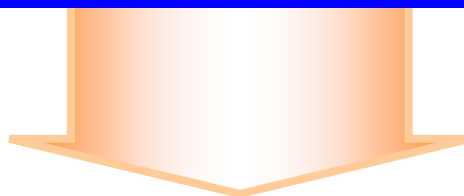


新規事業開発費用



	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	13,093	100.0	11,099	100.0	▲ 1,993	▲ 15.2
売上原価	11,497	87.8	9,480	85.4	▲ 2,017	▲ 17.5
売上総利益	1,595	12.2	1,619	14.6	24	1.5
販管費	1,345	10.3	1,366	12.3	21	1.6
営業利益	249	1.9	252	2.3	3	1.2
営業外収益	22	0.2	11	0.1	▲ 11	▲ 48.9
営業外費用	153	1.2	38	0.3	▲ 114	▲ 74.8
経常利益	118	0.9	225	2.0	106	89.7
特別利益	6	0.1	0	0.0	▲ 6	▲ 100.0
特別損失	1	0.0	0	0.0	▲ 1	▲ 100.0
当期純利益	73	0.6	122	1.1	48	66.2

- 株主様への利益還元
- 将来の事業展開に備えた内部留保の充実
- 業績に裏付けされた成果の配分



1株当たり年間配当金の計画
2013年9月期 15円
(2012年9月期予定 15円)

- 第一部 2012年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

□ 当社のこれまでの業績の特徴

- 外部環境に左右されやすい
- 外部環境とは、電子部品・デバイスの生産動向や貴金属及び銅の価格変動

□ 安定した成長に向けた新規事業開発の取り組み

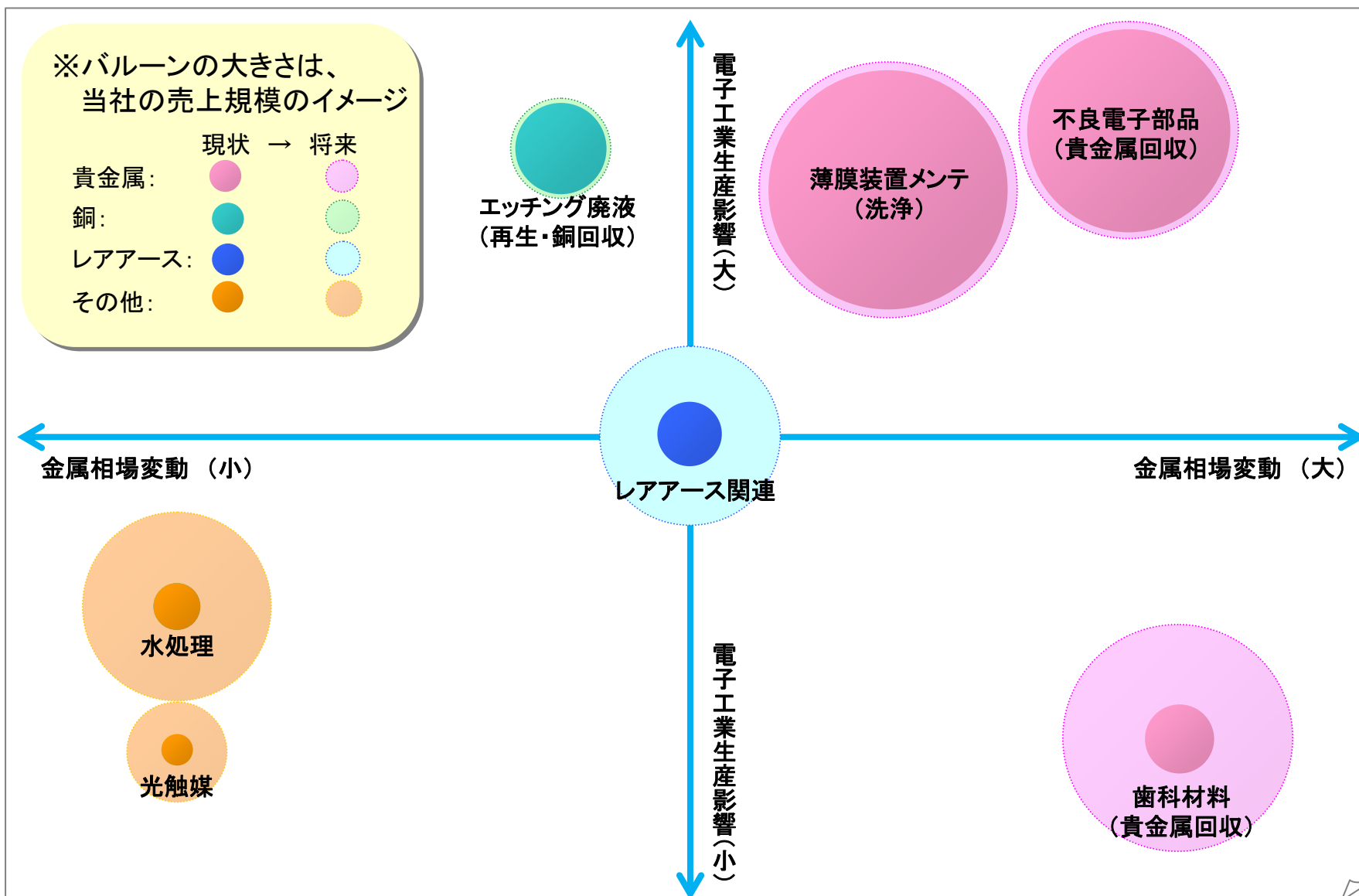
- 外部環境の影響を受けにくい事業構造を実現し、安定した成長を目指す
- 新規事業開発投資を行い、新事業の創出を推進

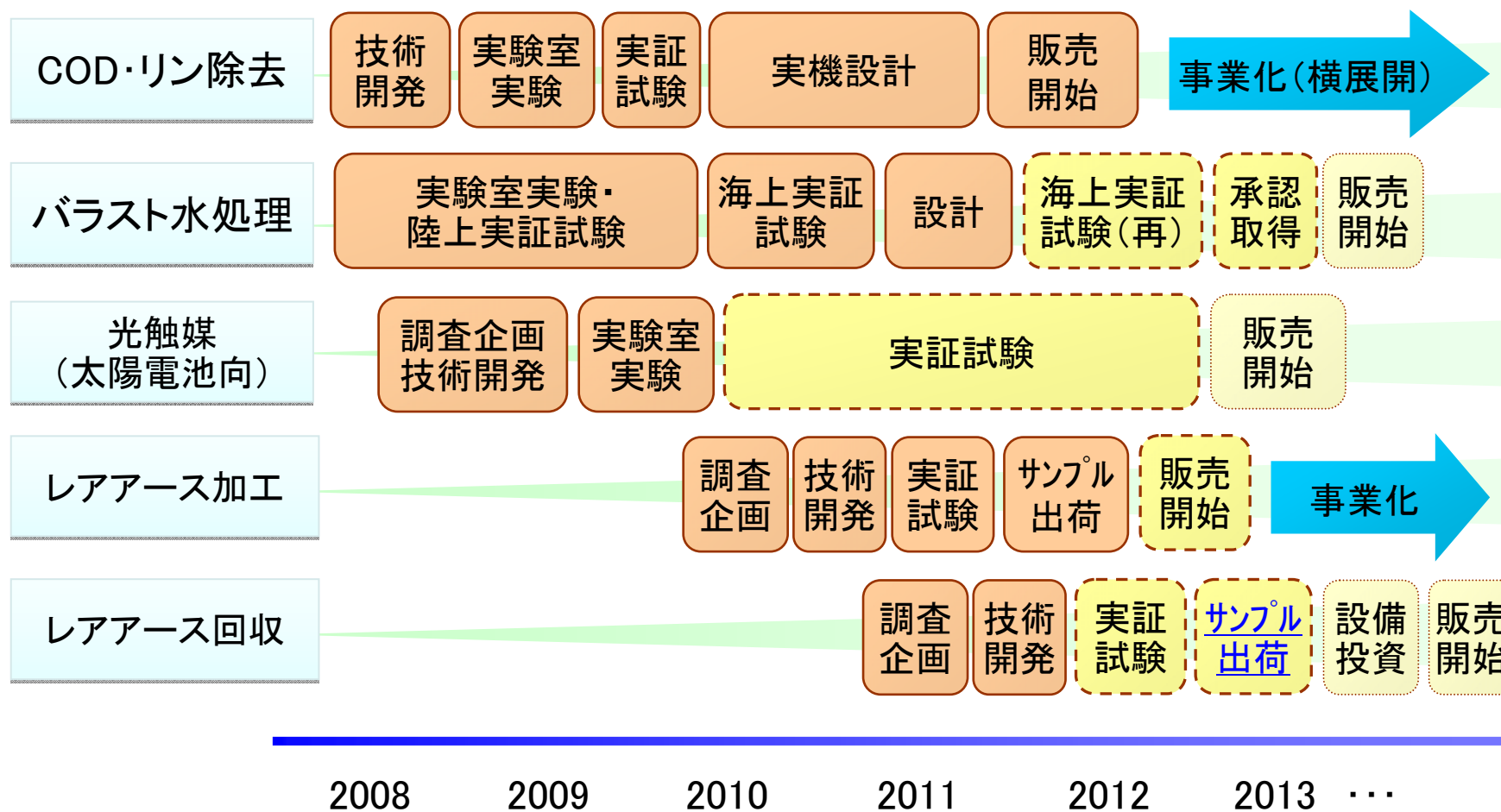
□ 新規事業開発の基本方針

- 当社のコア技術を活かしながら、市場または顧客の拡大を図る
- 現行の事業をベースとして、海外に進出する

コア技術を活かし新規事業の開発に積極的に取り組む

事業	技術的な関連と特徴
レアアース加工・回収	溶媒抽出技術を活かし、補助金を活用して、先行利益を目指す
歯科材料からの貴金属回収	貴金属回収技術をベースに、新しいビジネスモデルで勝負する
水処理事業	触媒技術を活かし、大手事業者と提携して、海外市場も狙う
光触媒事業	触媒技術、無機薬品技術を活かし、再生可能エネルギー分野へ進出する
海外事業	貴金属のコア技術で、新興国市場の取り込みを狙う





凡例:

実績

進行中

将来予測

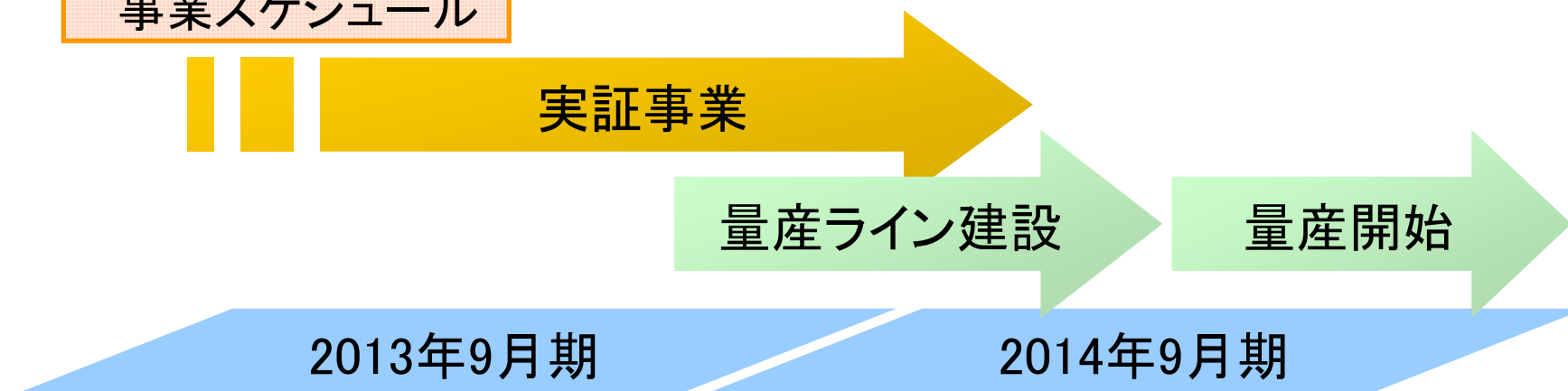
事業化

平成23年度「レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業（二次公募）」に採択

件名「ランタン及びガドリニウム精製の事業化に向けた実証事業」
→現在廃棄物として埋め立て処理されているレアアースを回収し、
高純度原料として再資源化する事業

補助対象事業30件、補助総額約30億円のうち、
当社は、約6億円の事業費に対し、約4億円の補助を受ける
(独)日本原子力研究開発機構、(株)MTC(商社)との共同事業

事業スケジュール





お問い合わせ先

株式会社アサカ理研

IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



株式会社アサカ理研 管理本部

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL: 024(944)4744

FAX: 024(944)4749

E-MAIL: ir@asaka.co.jp

URL: <http://www.asaka.co.jp/>

- ❖ 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ❖ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ❖ 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。